



■ 麻生区文化協会の年間行事

6 (または7)月 デッサン会(美術工芸部会主催)

毎年恒例のデッサン会は、黒川に稽古場がある「劇団民藝」のご協力を得て、「舞台衣装の女優さんを描くデッサン会」として、一般の方の参加を募って行っています。麻生区美術家協会の画家が指導にあたります。

7・8月 夏休み親子教室

川崎市教育委員会の協力を得て、毎年続けている行事です。親子一緒に参加して、科学を学んだり、書道や絵を学んだり、踊りをおどったり、お手玉を作ったりしてたのしく学ぶ教室です。今年度は16講座が開かれ500名を超える申し込みがありました。

8・9月 俳句講座 (アカデミー一部主催)

中央俳壇および地元俳壇の有名講師をお招きして、俳句講座が8/24, 9/7, 9/15の3回開かれました。例年申し込みを心待ちにしている方々がたくさんおられます。

9月 文化散歩 (文化サロン部主催)

生田緑地の日本民家園散策と岡本太郎美術館鑑賞

10・11月 文化祭(本プログラム)

■ これからの主な行事

11月27日(土) 雑学教室 (アカデミー一部主催)

麻生区の津久井道を歩こう!

23年1月7日(金) あさお古風七草粥の会

毎年、1月7日、麻生区役所前広場で、麻生区に古くから伝わる古風七草粥の会を実施しております。お囃子や童謡合唱などを楽しみながら七草粥を食していただきます。

23年3-4月(未定) アルテリッカ新ゆり美術展

本年3月の美術展にひきつづき、本文化協会と麻生区美術家協会のコラボにより、川崎市文化財団との共催にて開催します。乞うご期待!!

■ 会報「からむし」(広報部編集)

会報「からむし」は年2回(9/31, 3/31)発行の会報です。

巻頭は、美術工芸部会会員による麻生区内の寺社のイラストと寺社の紹介文です。

p.2は文化協会役員からのメッセージ、p.3では現在会員の姿を毎回本人の

執筆で紹介、

p.4-5では、麻生区に貢献した団体・個人を紹介、

p.6-7では、俳句大会、その他の文化協会イベントを報告、

p.8では会員の活躍(出版・展覧会・演奏会・発表会・受賞など)を紹介しします。

(個人・団体会員にもれなく配布)



■ 入会のおすすめ

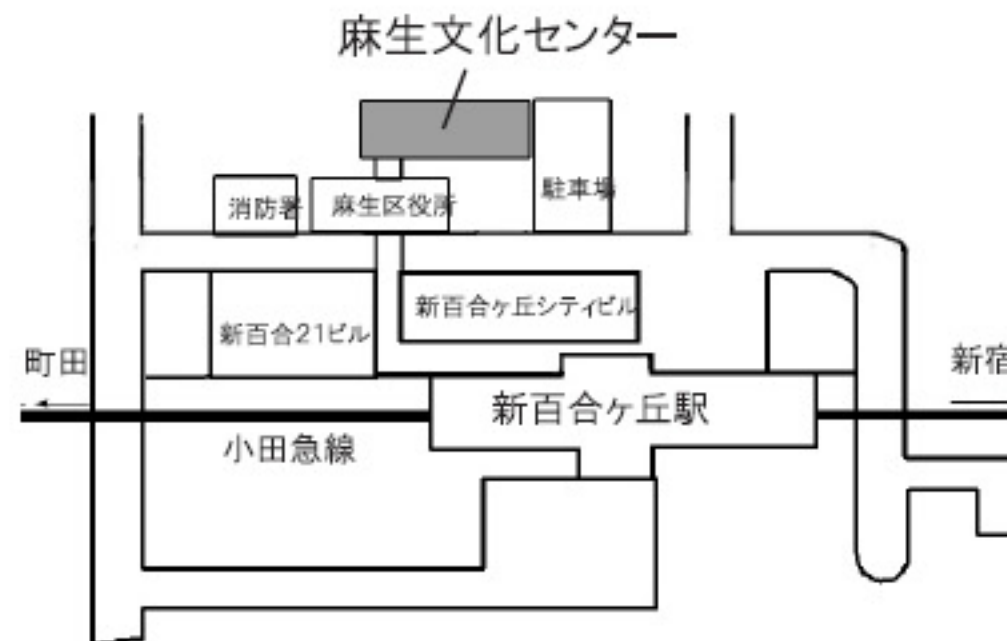
文化協会は、アカデミー部、舞台芸能部、美術工芸部、文化サロン部、広報部、という5つの部に分かれて活動しています。麻生区を文化の香り高い街にするため入会されて文化振興にご協力下さい。

年会費は、個人3000円、団体1万円です。

お申し込みは、はがきで

〒215-0004 麻生区万福寺1-5-2 麻生市民館内
麻生区文化協会 まで

■ 麻生区文化祭会場案内



文化育み 輝けあさお

第26回

麻生区文化祭

プログラム



かわさき市民芸術祭 あさお洋舞ぐるーぷ(22年3月7日)

平成22年10月24日(日)~11月10日(水)

会場:麻生市民館(麻生文化センター内)

10月24日(日)

麻生フィルハーモニー管弦楽団 (大ホール)

俳句大会 (大会議室)

11月5日(金)~11月10日(水)

美術工芸展/俳句展

(市民ギャラリー・オープンスペース)

11月6日(土)

邦舞・邦楽 (大ホール)

吟舞・吟詠 (大会議室)

11月7日(日)

洋舞 (大ホール)

文化講演会 [アメリカ珍行記](大会議室)

主催:麻生区文化協会

共催:川崎市・川崎市教育委員会